

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
広島市	柳原・河原・弥谷地区 (柳原町内会、河原町内会、弥谷町内会)	令和3年12月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の農地面積	19.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の農地面積の合計	14.0 ha
③地区内における70才以上の農業者の農地面積の合計	7.2 ha
i うち後継者未定の農業者の農地面積の合計	3.6 ha
ii うち後継者について不明の農業者の農地面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体引き受ける意向のある農地面積の合計	1.1 ha
(備考)	

2 対象地区の課題

安佐北区白木町柳原・河原・弥谷地区では、三田あんだの会が地域活動の中心となり農地の管理や担い手確保に取り組んでいる。地区内の農地は圃場整備を中心に水稻栽培が行われ、長年にわたり地域の農地を守ってきた。また一部は、施設野菜を生産出荷するなど、農地の高度利用も図られている。しかし、高齢化や不在地主の増加、さらに水稻の価格低迷や鳥獣被害の増加などの影響により、将来の営農活動の継続に向けて課題が顕著になってきている。そのため、地域の農業や農地の保全、担い手確保について地域において改めて考える必要が生じている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

三田あんだの会が中心となり、地域の農地の保安全管理を行っていく。また、水稻の担い手により、規模縮小希望農家の農地借受や作業受託を進める。また、認定農業者の経営拡大に伴い、施設栽培の規模拡大用地のあっせんを行う。外部から新たな担い手の受け入れ検討を行い、地域を支える担い手の確保を行う。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	ハモン農園 (MARTINS DE OLIVEIRA RAMON)	葉物野菜	2.67 ha	葉物野菜 水稻 果樹	3.78 ha	柳原地区 河原地区 弥谷地区
認農	山崎 昭治	水稻	0.00 ha	水稻	0.00 ha	柳原地区 河原地区 弥谷地区
計	2 経営体		2.67 ha		3.78 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

ハモン農園は現在、ビニールハウス41棟で施設野菜経営を行っている。将来的には、経営拡大を進めて、周辺農地を借り受けていき施設栽培の規模拡大を行う。また、水稻の規模縮小農家で希望があった場合には、新たに水稻による借り受けも進めていく。

山崎氏は将来的に、1haのまとまった作業委託の希望があった場合には、水稻の担い手として作業受託を進めていく。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

農地の所在	貸付け等の区分(㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
上柳原、中柳原、下柳原、 西柳原、河原、弥谷、大 泓、法恩寺	7,587		13,162
計	7,587	0	13,162